

植物図鑑 (その1)

コウボウシバ	コウボウムギ	ケカモノハシ
		
<p>カヤツリグサ科スゲ属の多年草</p>	<p>カヤツリグサ科スゲ属の多年草</p>	<p>イネ科カモノハシ属多年草</p>
<p>日本では、北海道から南西諸島までの、海岸の砂浜に、やや普通に生育する。5月から6月に、茎の頂部に<small>かすい</small>花穂を付ける。 高さ7～20cm</p>	<p>日本では、北海道から九州までの砂浜に普通にみられ、砂丘上に群落をつくる。地下には、古い葉の<small>ようしょう</small>葉鞘が繊維状に残り、筆のような形になる。5月から7月にかけて密な<small>かすい</small>花穂を出す。 高さ10～20cm</p>	<p>日本では北海道から九州までの海岸の砂浜に生育する。特に本州中部以西の砂丘では、コウボウムギ群落の内陸側に優占した群落をつくる。7月から8月に、茎の頂部に長さ6から12cmの2個の<small>かすい</small>花穂を付ける。 高さ60～80cm</p>
<p>ハマヒルガオ</p>	<p>ハマエンドウ</p>	<p>アイアシ</p>
		
<p>ヒルガオ科ヒルガオ属の多年草</p>	<p>マメ科レンリソウ属の多年草</p>	<p>イネ科アイアシ属の多年草</p>
<p>日本では各地の海岸で見られるほか、ときに内陸の湖岸、河原にも生える。花は5月頃に咲く。普通群生するので、花期にはお花畑のようになる。実は球形で、熟すと果皮が破れ、黒い色の種子を散らす。種子は海流によって運ばれる。</p>	<p>日本では北海道から南西諸島まで見られる。海岸生で、植物全体がエンドウに似ているのが和名の由来。5月から6月に長い花柄の先に<small>そうじょうかじょ</small>総状花序をつける。種子は海水に浮き、海流によって散布される。</p>	<p>日本では北海道から南西諸島まで、各地の塩性湿地周辺に生育する。大型の草本で、根茎によって繁殖するため、普通群生している。6月から7月に茎の先に、紫色を帯び、数本の枝を放射状に広げた複花序を出す。</p>

植物図鑑 (その2)

ヨシ	ツルヨシ	セイコノ(タカ)ヨシ
		
<p>イネ科ヨシ属の多年草</p>	<p>イネ科ヨシ属の多年草</p>	<p>イネ科ヨシ属の多年草</p>
<p>湖沼や河川、湿地など、いたるところの水湿地に群生する大型の抽水または湿生植物。日本では、北海道から南西諸島にみられる。花期は8月から10月。太い地下茎が何層にも縦横にほふくしている。高さは1mから3m。</p>	<p>本州、四国、九州、南西諸島に分布。流れの速い河岸や湖岸の砂礫地に多く生える。走出枝は地上をはって長さ5mほどにも達し、節毎にひげ根を出しながら繁殖する。花期は8月から10月。地上に走出枝があること、葉鞘が紫色を帯びること、節に開出毛があるところから識別。高さは1.5mから2mになる大型草本。</p>	<p>本州、四国、九州、南西諸島に分布。高さ2mから4mになる大型の抽水植物。ヨシに似ているが、ヨシよりも背が高く、葉先が垂れ下がらないのが異なる。花期は8月から10月。</p>
<p>アレチウリ</p>	<p>カナムグラ</p>	<p>ネザサ</p>
		
<p>ウリ科アレチウリ属つる性1年草</p>	<p>クワ科カラハナソウ属つる性1年草</p>	<p>イネ科メダケ属</p>
<p>北アメリカ原産の帰化植物。現在は本州、四国、九州に広がっている。やや湿り気のある腐植土を好み、荒れ地、林縁、土手、河川敷などで大群落をつくる。種子で繁殖し、花期は8月から10月。</p>	<p>日本各地に広く分布している。路傍、荒れ地、原野、土手、河川敷などに普通に生育し、他物に覆い被さるように生える。花期は8月から10月。</p>	<p>あらゆる土地に生育する。河川の堤防や山麓のよく日のあたるところを好むササ。森林中では直ぐ絶滅する。</p>

植物図鑑 (その3)

エノキ	ムクノキ	アカメヤナギ
		
被子植物双子葉離弁花類ニレ科	被子植物双子葉離弁花類ニレ科	被子植物双子葉離弁花類ヤナギ科
<p>落葉の高木で、高さ20m、直径1mに達する。暖帯から温暖にかけて山地に生育する。河川では、ヤナギ林の下に芽生え、土壤の乾燥が進行するにつれて、ヤナギ林に取って代わる。河川の中流から下流域にかけての泥質地の乾燥しかかった場所に生育・成長する。種子で繁殖する。種子は風散布。</p>	<p>落葉性の高木で、高さ20m、直径1mに達する。暖帯から温暖にかけて山地のひあたりのより適潤の地に生育する。河川では、ヤナギ林の下に芽生え、土壤の乾燥が進行するにつれて、ヤナギ林に取って代わる。河川の中流から下流にかけての河岸などの平坦なやや排水の悪いところに立地。種子で繁殖する。風散布。</p>	<p>平野の河岸などの水湿地に生える高木で、高さは15から16mになる。樹冠が広く、群生または単独で生育する。主に河川敷の粘土質土壤の所に生育する。氾濫の影響のやや少ない半安定帯にみられる。種子で繁殖する。花期は4月から5月、6月頃、白い綿毛に包まれた種子が飛び散る。発芽力は1週間くらい。</p>
<p>参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本野生植物館、小学館 ・川の生物図典、山海堂 ・原色樹木大図鑑、北隆館 		